

第5学年 図画工作科学学習指導案

1 題材名

「わたしの生き物物語」 (工作に表す)

2 指導観

(1) こんな児童だから

本学級の児童は、これまでに木材を使った工作や版に表す活動を通して、切る、彫るという表し方を経験してきた。また、粘土を使って立体をつくることで自分の思いを表現することをしてきた。しかしながら、木材そのものの特徴を生かした作品づくりやそこによさを感じることができていない。また、図画工作科の学習においては、絵画よりも工作を好む児童が多い。デザイン性や配色を工夫し、意欲的に取り組む児童が多い。

このような実態から、自分のイメージを色や形で具体的に表現するために、材料を切ったり組み合わせたりする活動を行うことにより、児童は木材の特徴や作品のよさを感じ、造形的な創造活動への意欲を高めることができると考える。

(2) こんな題材で

本題材は、切り抜く形を思い付き、形や色等の特徴を生かした作品を表現する力と、自分や友達がつくった作品で遊びながら、互いの表現のよさを感じ取っていく力を身に付けさせることをねらいとしている。

パーツの色づかい、向き、形の組み合わせ等のよさを紹介する中で、自分の思いに合った作品を発想することができる。またでき上がった作品で友達と遊ぶことを想像することで、作品に対する豊かな思いをさらに深めることができ、児童が熱中して取り組める題材であると考えられる。また、本題材はA表現の(2)アと特に関連が深く、一人一人が発想を広げることができる点で意義深い題材である。




(3) このように指導して

- 発想・構想の段階においては、想像を膨らませるために、今までの生活経験や生き物の姿などについての友達との交流を通して、自分の作品のイメージを膨らませるようにする。そして、児童が自分の思いを明確にもてるように図工ノートに下絵をかかせる。また、作品に込めたい自分の思いを明確にすることができたか、記述をもとに振り返らせる。
- 表現の段階においては、初めに発想・構想の段階でかいた下絵を基にして、無駄なく木取りをさせる。次に、木取りを基に、板を切り抜いていき、着色させる。木取りの後と表現の最後に、自分の思いが作品に表れているか、計画通りにできたかということについての視点を与えてふりかえり活動をさせる。
- 鑑賞の段階においては、友達や自分の作品のよさや面白さを発見するために、友達の作品を遊びながら交流する場を設定する。遊びながら見つけたよさについて交流することで、自分の振り返りを行わせ、作品への思いをさらに豊かにする。

3 題材目標

- 1枚の板材を生かして、楽しみながらパズルをつくる活動に取り組もうとしている。
(造形への関心・意欲・態度)
- 切り抜いた一つ一つのピースと、組み立てたパズル全体の形や色の面白さのあるパズルを考えている。
(発想や構想の能力)
- 安全に電動糸のこぎりときりを使いながら、板材の切り方を工夫している。
(創造的な技能)
- 自分や友達がつくったパズルで遊びながら、互いの表現のよさを感じ取っている。
(鑑賞の能力)

4 学習計画（全6時間）

過程 配時	学習活動	手だて（※） ふりかえり活動に関する手だて（◆）	児童の姿
発想 構想 ②	1 好きな生き物の話をしたり，提示資料を見たりしながら，自分がつくってみたいパズルのイメージをもつ。	※ 発想が思い付かない児童には，これまでの生き物との経験や好きな動物の話をしたり，資料を提示したりする。 ◆ 自分の思いをもとに，パズルに表したい物語をイメージすることができたか，振り返りをさせる。	◎ 好きな生き物の話をする中で，物語パズルのイメージを膨らませている。 ◎ つくりたいもののイメージを図工ノートにかき表している。  <p>草原で，猫がハムスターに，ひまわりの種をあげているところをパズルにしたいな。</p>
	2 表したいパズルの形や色について考える。 ○ メインになるものをかく。 ○ 周りのスペースをかく。	※ 板を無駄にしない配置について考えさせる下絵の見本を提示する。 ※ 児童が学習の見通しをもてるように学習の流れを提示する。 (1) 木取り (2) パーツを切る (3) 着色（ニス） ◆ 自分の下絵を振り返ったり，友達の下絵を鑑賞したりしながら，形，色，組み合わせを計画することができたか振り返りをさせる。	◎ 前時の図工ノートをもとに，どんな物語を表したいのか確かめ，板と同じ大きさの紙を無駄にしないように意識して，組み合わせや配置を考えている。  <p>ハムスターがひまわりの種をもらってうれしそうなところを真ん中にかきたいな。</p> <p>ここの空いているところにもパーツが描けるよ。</p> ◎ 自分の作品を振り返ったり，友達の作品を鑑賞したりすることで，自分の思いにあった表現方法を見付けている。
表現 ③	3 図工ノートにかいたことを基にして作品をつくる。 ○ 下絵をもとに，木取りをする。 ○ 線に沿って電動糸のこぎりで板を切り抜く。 ○ 切り抜いたパーツに絵の具で着色する。	※ 電動糸のこぎりの安全な使い方を教え，安全な使い方カードを掲示しておく。 ※ どこから切れば切りやすいか，考えさせる。 ※ 資料コーナーを設置し，児童がいつでも自由に見られるように，参考作品を置く。 ◆ 表現段階の途中に，作品に思いが表れているか，計画通りにできているか，振り返らせる。	◎ 下絵をもとに無駄なく木取りをしている。 ◎ 電動糸のこぎりを正しく使い，思い通りの線で板を切り抜いて部品をつくらうとしている。  <p>ここから切っていくと簡単に切り抜くことができるよ。</p> ◎ 自分や友達の表現のよさや面白さに気付き，自分の表現活動に生かそうとしている。 ◎ 自分の思いに合うような色を考えている。
鑑賞 ① 本時 6/6	4 自分や友達の作品を鑑賞し，作者の思いをもとに作品のよさや面白さを味わう。	※ 児童自身で形や色，組み合わせのよさや面白さに気付くように，交流の場を設定する。 ◆ 材料の形や色，組み合わせの工夫から感じた思いやよさを図工ノートにかかせる。	◎ 自分や友達の表現のよさや面白さを味わいながら作品鑑賞を行っている。 ◎ 友達との交流をもとにして，自分の表現のよさについて考えている。

5 本時の指導について

(1) 本時の目標

- 自分や友達がつくったパズルで遊びながら、互いの思いとよさを感じ取っている。（鑑賞の能力）




(2) 本時指導の重点

本時は、自分の思いを込めて表現した作品を展示し、鑑賞し合う段階である。自分が作品に込めた思いを伝えたり、友達の作品に込められた思いや作品のよさを見付けたりすることで、児童はさらに自分の作品を大切に感じるようになると思う。

そのために、以下のことを行う。

- 互いの表現のよさをいかしていけるようなグルーピングの工夫および活動の場を設定する。
- 鑑賞の視点を与え、込められた思いやよさを見付けられるようにする。

(3) 本時の展開

学習活動	手だて（※） ふりかえり活動に関する手だて（◆）	児童の姿
<p>1 前時までの学習を振り返り、めあてを確認する。</p>	<p>◆ 自分の思いや工夫したことに気付くことができるように、振り返りカードの視点をもとに振り返らせる。</p>	<p>◎ 振り返りを行い、自分の思いや工夫に気付いている。</p>
<p>めあて 自分や友達の作品にこめられた思いやよさを伝え合おう。</p>		
<p>2 鑑賞会の流れを確認して、鑑賞会を行う。</p> <p>(1) 鑑賞会の流れを確認する。</p> <p>(2) グループで鑑賞会をする。 ・前半はグループ内で鑑賞 ・後半は個人で鑑賞</p>	<p>※ 作品に込められた思いや形、色、組み合わせなどの工夫を鑑賞の視点として確認することで、思いや工夫を見付けられるようにする。</p> <p>※ 作品に込められた思いを意識させるために、3人グループで友達のパズルを合わせながら鑑賞させる。</p> <p>※ 友達の作品のよさをコメントカードに書くことで、形や組み合わせ、色のよさについて気付くようにする。</p> <p>※ 作品に込められた思いを感じ取らせるために、紹介カードを読み、パズルで遊びながら鑑賞させる。</p>	<p>◎ 鑑賞会の流れを理解し、意欲的に取り組もうとしている。</p> <div data-bbox="1011 1003 1458 1182"> <p>友達の作品の思いを聞いたらよさがよくわかりました。作品に思いを込めてつくったんだな。</p>  </div> <div data-bbox="1011 1205 1458 1429"> <p>この形から、ハムスターの嬉しい気持ちがたわるね。作品のいいところだけでなく、思いを見付けることも大切なんだね。</p>  </div> <div data-bbox="1011 1451 1458 1630"> <p>友達の作品を見ることで、自分では思い付かなかった工夫を見付けることができたよ。 コメントカードにほくが伝えたかったこと書いてあってうれしいな。</p>  </div>
<p>3 本時学習の振り返りをして、発見したことや学んだことを交流する。</p> <p>(1) 図工ノートに振り返りを書く。</p> <p>(2) 作品のよさや面白さ、作品に込められた思いを発表する。</p>	<p>※ 鑑賞の視点に沿って振り返り、思いやよさを交流することで、次題材への意欲をもたせる。</p> <p>◆ 作品に込められた思いや工夫を伝え合い、感じたことをもとに図工ノートに書かせることで、自分や友達の思いやよさに気付くようにする。</p>	<p>◎ 振り返りを行い、自分や友達の作品に込められた思いやよさに気付いている。</p>